

教 員 個 人 調 査 書 《記入例》

履 歴 書					
フリガナ	アワジ ハナコ	性別	女	生年月日（年齢）	昭和〇〇年〇月〇日（満〇〇歳）
氏名	淡路 花子				
国籍	—		現住所	兵庫県神戸市〇区〇町〇番〇号	
月額基本給	—	千円			
学 歴					
年 月	事 項				
昭和〇〇年〇月	〇〇県立〇〇高等学校卒業				
昭和〇〇年〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学				
昭和〇〇年〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業				
昭和〇〇年〇月	〇〇大学院〇〇研究科〇〇専攻博士課程前期課程入学				
昭和〇〇年〇月	同上修了（〇〇学修士）				
<p style="color: red; margin: 0;">※1 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する者は、これらの学歴のすべてについて記入し、その他の者は、最終学歴について記入して下さい。</p> <p style="color: red; margin: 0;">2 博士課程を出て未だ博士号を取得していない者の学歴は「博士課程単位取得満期退学」と記入して下さい。</p> <p style="color: red; margin: 0;">3 大学の別科、専攻科については、この欄に記入の事。</p> <p style="color: red; margin: 0;">4 医師、看護師等の資格は、登録番号・取得年月日も含めて記入の事。</p> <p style="color: red; margin: 0;">5 外国留学は、学生としての留学の場合は、この欄に記入して下さい。研究者としての留学の場合は、下の職歴欄に記入して下さい。</p>					
職 歴					
年 月	事 項				
平成〇〇年〇月	〇〇病院〇〇部〇〇病棟（平成〇〇年まで）				
平成〇〇年〇月	〇〇病院退職				
平成〇〇年〇月	〇〇大学〇〇学部講師（平成〇〇年まで）				
平成〇〇年〇月	〇〇大学退職				
平成〇〇年〇月	〇〇大学〇〇学部講師（現在に至る）				
<p style="color: red; margin: 0;">※1 職歴のすべてについて記入し、職名、地位等についても明記して下さい。</p> <p style="color: red; margin: 0;">2 各職歴について、在職期間が明確になるように記入して下さい。尚、現職は、必ず「現在に至る」と明記して下さい。</p> <p style="color: red; margin: 0;">3 大学の教員の職歴については、主な担当科目（ ）で付記して下さい。</p> <p style="color: red; margin: 0;">4 担当科目に直接関係にある職歴については、できるだけ具体的に記入。（例 看護学科の教員で看護師の経歴のある者の当該看護師時の勤務病棟等）</p> <p style="color: red; margin: 0;">5 過去に於ける大学設置・学校法人審議会の教員審査において教員に資格があると認められた者は、同欄に当該教員組織審査に係る大学名、審査の年月、専任・兼任・兼担、職名及び担当授業科目名を記入して下さい。</p> <p style="color: red; margin: 0;">6 大学院にあっては、判定結果「<input checked="" type="checkbox"/>合・可」を記入して下さい。</p>					

学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等			
現在所属している学会		日本〇〇学会、〇〇学会、〇〇学会、 (所属している学会を記入して下さい)	
年 月	事 項		
平成〇〇年〇月	日本〇〇学会会員 (平成〇～〇〇年〇〇支部幹事)		
平成〇〇年〇月	日本〇〇学会評議員		
平成〇〇年〇月	〇〇県〇〇審議会委員 (平成〇〇年〇月まで)		
<p>※1 この欄には、本人の選考、研究分野等に関連した事項について「学会活動」「社会活動」等にわけて記入して下さい。また、教育研究上の業績を有する場合は、その内容を具体的に記入して下さい。</p> <p>2 所属学会は正確に記入して下さい。</p> <p>3 「職歴」欄と同様に所属期間及び現在も所属しているものについては「現在に至る」と記入して下さい。</p>			
賞 罰			
年 月	事 項		
平成〇〇年〇月	〇〇記念賞		
※ 当該事項が無い場合は、「賞罰ともなし」と記入して下さい。			
現 在 の 職 務 の 状 況			
勤 務 先	職名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況
〇 〇 大 学	△△	看護学部看護学科	〇〇看護学Ⅰ、××看護学Ⅱ、△△看護学Ⅲ
開 設 後 の 職 務 の 状 況			
勤 務 先	職名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況
上記のとおり相違ありません。			
平成〇〇年〇月〇日			
氏名 淡路 花子 印			
<p>※「職務の状況」の欄について</p> <p>①「現在の職務の状況」</p> <p>ア 上段の「現在の職務の状況」の欄には、申請時に現在における職務の状況について記入の事。</p> <p>イ 「職名」については、大学等の教員の場合は、「教授」「准享受」等の職位を記入の事。それ以外の職に従事している場合は、「取締役」「理事」等の職名を記入して下さい。職名がない場合は「—」</p> <p>ウ 勤務状況については、大学の教員等の場合は、担授業科目を記入の事。それ以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入して下さい。</p> <p>②「開設後の職務の状況」</p> <p>ア 下段の「開設後の職務の状況」の欄については、当該大学等に専任教員としての就任以降に、当該大学以外の職に従事する場合に記入して下さい。</p> <p>イ 常勤、非常勤を問わず、定期的に従事する職についてはすべて記入して下さい。</p> <p>ウ 他大学等の兼任教員の場合は、「勤務先」に大学名「職名」に兼任、「学部等又は所属部局の名称」に学部学科名(全学共通の場合などは適宜わかるような表記)「勤務状況」は週あたりの勤務日数を記入して下さい。</p> <p>エ 大学以外の業務の場合は、従事する職に応じて実態がわかるように適宜記入して下さい。</p> <p>オ 「名誉職」のような場合で、定期的な勤務のない場合は記入不要です。</p> <p>カ オの場合を除き、勤務実態のある業務については記入漏れのないように注意してください。</p> <p>キ 記入した業務のうち、常勤の職については、「教員就任同意書」を必ず添付して下さい。(他大学等の兼任教員、非常勤の職の場合は同意書は不要です)</p>			

教 育 研 究 業 績 書

《記入例》

平成〇〇年〇月〇日

氏名 淡路 花子 印

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
(研究分野の主なものを3つ以内に簡潔に記入して下さい) ※実務者は「〇〇に関する実務」と記入して下さい	(研究内容を表すキーワードを5つ以内に簡潔に記入して下さい) ※実務者の場合は職務内容を表すキーワードを5つ以内で記入して下さい	
教 育 上 の 能 力 に 関 する 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例 1) ××学術情報セミナー 2) 〇〇省学習指導要領に協力 3) 視聴覚教材による研修教育	昭和〇年〇月～ 昭和〇年〇月 平成〇年〇月〇日 平成〇年〇月〇日	全国××センターの**機関を組織して、国公立大学の研究者・図書館員に対して、文献・情報のデータベースの利用方法に関するセミナーで、利用方法の開発を行った。 〇〇省の〇〇教育は、学習指導要領によって、管理されている。そのための基準改良に協力してきた。 通常の冊子体の資料よりは、最近の人々には視聴覚的な教材が望ましいので、ビデオの教材を作成した。
<p style="color: red; margin: 0;">「1. 教育方法の実践例」・・・記入上の注意点</p> <p style="font-size: small; margin: 0;">概要欄に、①教えた機関(大学名等)、②科目、③常勤・非常勤の別などの記載とともに、導入した独自の教育方法の実践例を記入して下さい。</p> <p style="font-size: small; margin: 0;">例1 優れた教育方法の実践例、マルチメディア機器を活用した授業方法、学生の授業外における学習促進のための取り組み、講義内容のweb上での公開等</p> <p style="font-size: small; margin: 0;">例2 教育機関や社会人講座、企業研修などでの教育経験</p>		
2 作成した教科書, 教材 1) ××文献情報の現状と利用方法 2) 『〇〇概説』	平成〇年〇年 平成〇年〇年	××センターの教官を動員して、教材としての様式を確立した。 同書は大学の〇〇課程向けの教科書として作成され、以後現在に至るまで、版を重ねている。
<p style="color: red; margin: 0;">「2. 作成した教科書, 教材」・・・記入上の注意点</p> <p style="font-size: small; margin: 0;">作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材等の概要(後の『著書、学術論文』との重複も可。その場合「(再掲)」と表示して下さい。</p>		
3 教育上の能力に関する大学等の評価 「平成〇年度・授業評価アンケート」 自己点検評価・外部評価	平成〇年〇年 平成〇年〇年	学生による授業評価アンケートにおいて高い評価を得た(授業内容にはほぼ満足と回答した学生が8割を占めた) (評価内容)
<p style="color: red; margin: 0;">「3. 教育上の能力に関する大学等の評価」・・・記入上の注意点</p> <p style="font-size: small; margin: 0;">ご自身の教育上の能力に関する客観的評価を記載して下さい。</p> <p style="font-size: small; margin: 0;">例1 各大学での自己点検・評価の一環として、教育面で高い評価を受けた事実(その事由と評価の内容)</p> <p style="font-size: small; margin: 0;">例2 採用決定の際等における教育上の能力に関する評価</p> <p style="font-size: small; margin: 0;">例3 学生による授業評価、教育同士の総合評価等をまとめたもの</p> <p style="font-size: small; margin: 0;">例4 学外の評価機関等が行った評価</p> <p style="font-size: small; margin: 0;">例5 上記以外で、学長、学部長、学内諸機関等が行った評価(客観性をもったものについて記載)等</p>		

<p>4 実務の経験を有する者についての特記事項</p> <p>1) 企業内での研修、セミナー</p> <p>2) ○○(株)××部××課</p>	<p>平成○年○年</p> <p>平成○年○年</p>	<p>○○、○○、○○、○○等の各種研修の講師 ○○、○○、○○、○○等の各セミナーの講師</p> <p>課長として部下の育成・指導</p>
<p style="text-align: center;">「4. 実務の経験を有する者についての特記事項」・・・記入上の注意点</p> <p>例1 大学から受け入れた実習生に対する指導歴(看護・福祉実習・企業実習等) 例2 企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての講義等の概要 例3 その他、所属機関や関係機関等において行った講義、講習、職員・関係者等に対する指導、海外等における留学、調査研究経験等を広く記載して下さい</p>		
<p>5 その他</p>	<p style="text-align: center;">「5. その他」の欄・・・記入上の注意点</p> <p>1～4に該当するもの意外の事項について幅広く記入して下さい(下記項目例を参照)。 (「5.その他」の欄の項目例) 例1 大学教育改善に関する団体等での活動概要 例2 教育実績に対する受賞歴等</p>	
<p>職 務 上 の 実 績 に 関 する 事 項</p>		
<p>事項</p>	<p>年月日</p>	<p>概 要</p>
<p>1 資格、免許</p> <p>1) TOEIC **点</p> <p>2) 外国弁護士資格等</p>	<p style="text-align: center;">「1. 資格、免許」・・・記入上の注意点</p> <p>資格について、担当する教育の内容に関するものなど、特に審査に関連すると思われるものについて記載して下さい。</p>	
<p>2 特許等</p> <p>1) ××に関するシステム及び認証方法</p> <p>2) ○○装置</p>	<p>平成○年○月○日に 出願</p> <p>平成○年○月○日に 出願</p>	<p>特許第*****号</p> <p>△△と共同出願 特許第*****号</p>
<p style="text-align: center;">「2. 特許等」・・・記入上の注意点</p> <p>本人の担当する教育内容等に関連した事項について記載して下さい。</p>		
<p>3 実務の経験を有する者についての特記事項</p> <p>1) ** (株)法務部○○課</p> <p>2) ** (株)○○部</p>	<p>平成○○年～○月 ～ (○年間)</p> <p>平成○○年～○月 ～ (○年間)</p>	<p>**課長(独占禁止法担当)として、主に以下の内容の訴訟を担当 ・△△(平成○年○月～平成○年○月) (内容、結果等を記載)</p> <p>**部長として、以下のプロジェクト契約を取り纏め</p>
<p style="text-align: center;">「3. 実務の経験を有する者についての特記事項」・・・記入上の注意点</p> <p>実務経験の記載方法については、「職歴」欄に記載した事項を中心に、担当する授業科目に対応した下記の事項を参考に記載して下さい。</p> <p>①従事した期間 ②職務の内容(どのような職務について、どのような役割を果たしたか) ③成果、結果</p> <p>(職務上の実績の項目例)</p> <p>○企業官公庁等の研究者の場合 ・開発した新製品・製法、作物等の新品種などの概要 ・大学との共同研究による研究実績がある場合、その概要・成果・当該研究者の役割</p> <p>○その他、企業・団体等関係者 ・国際援助・開発、先端技術、国際金融等高度に専門的な実務に従事した実績</p> <p>○意思や看護師等医療技術者の場合 ・症例研究会での発表等の活動</p> <p>○福祉その他社会活動の関係者の場合 ・参加した活動や団体の名称、活動内容・期間、本人の当該活動における地位</p> <p>○その他全般を通じて</p>		
<p>4 その他</p>	<p style="text-align: center;">1～3に該当するもの以外の事項について幅広く記載して下さい。</p>	

《記入例》

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1. ○○○○○○	共著	昭和○○年○月	××書店 (○○研究業績) 200字程度 共著者：淡路花子, ○○○○, △△△ 担当部分：**頁～**頁(担当箇所第**章「***」共同研究)
2. △△△△△△	共著	平成○○年○月	○○書店 200字程度 共著者：淡路花子, ○○○○, △△△ 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可
(学術論文) 1. ○○○○○○	共著	平成○○年○月	○○学会誌 第*巻*号 (*~*頁) 和文の場合 200字程度
2. △△△△△△	単著	平成○○年○月	Vol. **, No. * (pp**~**) 英文の場合 200字程度 共著者：淡路花子, ○○○○, △△△ 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可
(その他) 1. ○○の研究座談会		昭和○○年○月		○○法の○○に関する座談会を主催

「著書、学術論文等の名称」・・・記入上の注意点

- (1) この書類は、担当授業科目等に関連する主要な著書、学術論文等について作成する。
- (2) 「著書、学術論文等の名称」の欄には、著書・学術論文及びその他の順に、それぞれ年月順に、番号を付して記入して下さい。
- (3) 「概要」には、著書、学術論文等の概要及び頁数について各著書、学術論文等ごとに明確かつ簡潔に(200字程度)で記入して下さい。
- (4) 共著の場合は、ご自身の担当部分の概要及び掲載頁を明記し、また、ご自身の氏名を含め著作者全員の氏名を当該著書、学術論文等に記載された順に記入して下さい。なお、共著の場合でご自身の担当部分を明確に出来ない時は、その理由を明確にして下さい。
(例：共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
また、筆頭論文である場合は、その旨明記して下さい。
- (5) 1冊の本を数人で執筆した場合は当該部分が単著であっても共著として記入して下さい。
- (6) 学術論文については、その旨が明確になるように記入して下さい。
- (7) 発表学会誌等は、その名称の他、巻・号等まで明記してください。
- (8) 著書、学術論文等で発行又は学会誌等での発表予定のものについては、その旨を明記し、出版社や学会からその旨の**証明書(出版証明書等)**を添付して下さい。なお、書類提出以降に投稿予定のものは含めないで下さい。